

【基本施策】

**5. 地域資源を活かす観光を推進する**

【基本方針】

歴史・伝統・文化の高い魅力ある観光資源については、個々の具体的な対象者を意識しながら、丹南地域はもとより県内外との広域連携により、その魅力をさらにPRしていきます。

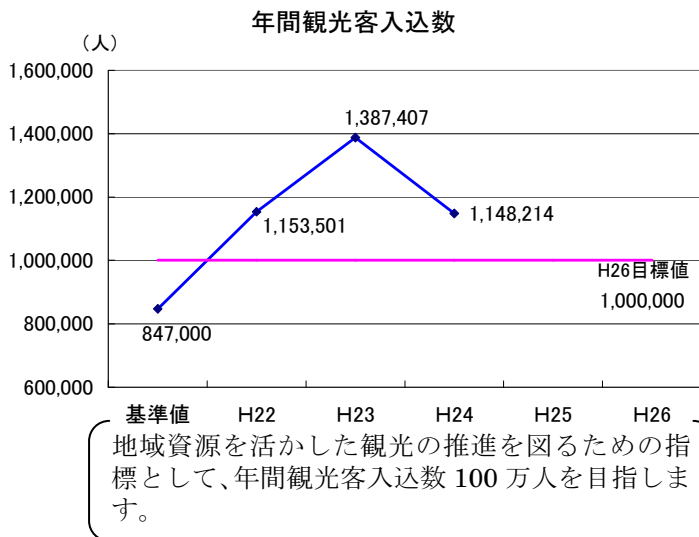
また、これまでの観光資源であるつつじやさくらにさばえ菜花を加えて、鯖江の春の三大花もののがたりとして定着させ、新たな観光の展開を図ります。

さらに、眼鏡・繊維・漆器などの地場産業や地元農産物を活用した「食」を観光資源として捉え、多方面から観光事業を展開していきます。特に、めがね会館内のショールームや石田縞手織りセンター、うるしの里会館を中心に観光産業の振興を推進します。産業観光ボランティアガイドをはじめ、広く観光に関わる事業者の研修等を通じて、観光資源の紹介・PR力の向上を図ります。

【実施施策】

◇街なか観光の推進 ◇産業観光の充実 ◇広域観光の推進 ◇観光情報の提供と活用

【施策成果指標】



【構成事務事業の達成ランクおよび方向性】

基本施策	構成事務事業の状況											
	H24 ランク				H26 方向性							
	A	B	C	小計	事務改善	内容拡大	内容縮小	維持	終了	廃止休止	統合	小計
<b>地域資源を活かす観光を推進する</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>10</b>
街なか観光の推進	4	1	1	6	0	0	0	6	0	0	0	6
産業観光の充実	2	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	2
広域観光の推進	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1
観光情報の提供と活用	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1

## これまでの取り組み成果

眼鏡や漆器などの地場産業や街なか公園である西山公園を地域資源として位置づけ、産業観光や街なか観光を推進してきた。特に西山公園は、日本の歴史公園100選に認定されたことや、つつじ、もみじの名所として認知されてきたことにより、主要観光地となった。

産業観光についても、めがねミュージアム、石田縞手織りセンター、うるしの里会館といった産業紹介の拠点施設も整い、観光客をターゲットとした誘客事業の展開に意欲を持って取り組んでおり、各施設来場者も着実に増えている。

河和田町を中心に地域資源を活かしたモデル事業として「中道アート」事業に取り組んだ。

## 今後の課題

観光客数の増加を、実質的な経済効果にいかに関結び付けることができるかが大きな課題である。

また、魅力的な観光プランとして、単なるスポット的な見所ではなく、訪れたくなるようなストーリー、話題づくりも重要なテーマである。

また、ストーリー作りにおいては、近隣の観光地だけでなく、伝統産業など共通の話題を有するところと広域的な連携のもとでの相乗効果を図ることも必要である。

さらに、商業者・サービス業者にも観光客を対象とした土産品やもてなしのサービスを開発してもらうなど、観光客のニーズを先取りした取り組みへの誘導も必要である。

## 今後の施策展開

観光情報公式サイト「さばかん」の充実。

めがねミュージアムやうるしの里会館などの産業観光施設への誘客事業を強化する。

道の駅を拠点とした西山公園への観光客を街なかの飲食や休憩場所に誘導するようなコース、プランを充実し、地域が潤うような施策を推進する。

また、誘客推進とあわせて、地元地域を挙げての自主的なおもてなしの取り組みの有用性にも目を向けてもらえるよう市民の啓発・研修等を実施する。

## 【総合評価】

**A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。**

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：A〉